



平成 27 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 柿本 敏男
 (コード番号 2531 東証 第1部)
 問 合 せ 先 財務・IR部長 掛見 卓也
 T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 8 日に公表した平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の第 2 四半期累計期間の連結業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)
 (単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 5 月 8 日発表)	105,500	2,900	3,100	1,500	7 円 45 銭
今回修正予想 (B)	106,900	3,800	4,300	2,500	12 円 42 銭
増 減 額 (B-A)	1,400	900	1,200	1,000	-
増 減 率 (%)	1.3	31.0	38.7	66.7	-
ご参考:前期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計)	101,130	3,275	3,429	1,828	9 円 09 銭

2. 修正の理由

連結売上高につきましては、宝酒造グループ、タカラバイオグループともに海外子会社が為替の影響も含めて好調に推移したことなどから、前回発表予想を 1,400 百万円(1.3%)上回る見通しとなりました。

利益面では、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、連結営業利益は前回発表予想を 900 百万円(31.0%)上回る見通しです。これに加えて、営業外

収支の改善や投資有価証券の売却益を特別利益に計上することから、連結経常利益は 1,200 百万円 (38.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,000 百万円 (66.7%)、それぞれ前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証マザーズ)も、第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正発表をおこなっております。

3. 平成 28 年 3 月期 通期の連結業績予想について

通期の連結業績予想につきましては、現在精査中であり、平成 27 年 11 月 6 日に予定している第 2 四半期決算発表時にお知らせする予定です。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、平成 27 年 11 月 6 日発表予定の第 2 四半期決算発表数値とは異なる可能性があります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。